

校訓	自分を育て 自分を生かし 社会を明るく	令和6年度学校だより 「天の子」 第3号	発行日	令和6年4月17日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ～主体的に学び 考え、行動する力と、豊かな心を育む～		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長 永嶺 香織

新入生を迎え、天中生826名がそろいました。各学年、授業や行事に向けての準備など、元気に取り組んでいます。新しいクラス、学年でしっかりと自分を育ててほしいと思います。

【入学式式辞から】

新入生のみなさん、これから始まる中学校生活に「頑張るぞ」という強い決意を抱く一方で、「大丈夫かな」という不安もきっとあることでしょう。

違う小学校から来た人や先生、先輩と新たな関係を築いていくことや教科の授業時間が増え、先生が教科ごとに変わること、また、部活動や生徒会活動など小学校との大きな違いに戸惑うことがあるかもしれません。しかし、小学校6年間で身につけてきた力や経験を活かして、大きく成長してくれることを期待しています。

天王寺川中学校では、「自分を育て 自分を生かし 社会を明るく」という校訓のもと、「夢と誇りのある生徒の育成」を学校目標としています。この目標を実現するために、中学校三年間で頑張ってもらいたいことを二つ、お伝えしたいと思います。

一つ目は、「自分の力を伸ばす努力をすること」です。何かを始める前に、「自分には無理」「自信がない」とあきらめてしまうと、自分の持っている力を伸ばすことはできません。自分の良いところや自分の可能性を見つけ出すためには、学習や部活動、委員会活動など、失敗を恐れずに、積極的に挑戦してください。明日の自分をつくるのは、自分自身です。



二つ目は、「つながりを大切にすること」です。いろいろな人と良い関係を築くことができる「つながる力」を高めてください。授業や行事、部活動、休み時間や給食の時間など、毎日の学校生活の中で、相手の気持ちに寄り添いながら話を聞き、相手を理解すること、自分の考えを相手に理解してもらえようように丁寧に伝えることなど、コミュニケーションを大切にして、多くの人とつながっ

てお互いの良さを認め合える関係を築いてください。

また、中学校生活では、勉強や進路、友人関係など、様々なことで、悩んだり、苦しんだりすることがあるかもしれません。そんな時に助けてほしいという言葉が出せるように、つながりを作ってほしいと思います。

「凡事徹底」という言葉があります。これは、なんでもないような当たり前のことをおろそかにせず、徹底的に行うという意味です。徹底的に行うことで、物事の本質や問題点が見えたり、継続して取り組むことで工夫が生まれたりします。

今、お伝えした二つのこと、「自分を伸ばす努力をすること」「つながりを大切にすること」、これからの3年間、一日一日を積み重ね、しっかりと力をつけ、大きく成長してください。

【部活動顧問の紹介】

今年度、以下の職員で部活動を運営いたします。

個人情報保護のため割愛しています。